

令和5年度自己点検・自己評価および学校関係者評価会議

実施日：令和6年5月28日

学校法人阪和学園 錦秀会看護専門学校

自己点検・自己評価									
大項目	中項目	評価対象項目	令和3年度		令和4年度		令和5年度		学校関係者評価コメント
			評点	評点平均	評点	評点平均	評点	評点平均	
1. 教育理念・目的・目標	1) 学校の教育理念・目的・目標の設	(1) 教育理念は明文化している。	2	1.73	2	1.64	2	1.64	(4) (5) については今後も教職員の努力が必要。
		(2) 学校独自の教育理念を持っている。	2		2		2		
		(3) 教育理念・目的・目標は人材育成の内容と一致している。	2		2		2		
	2) 教育理念・目的・目標の達成	(4) 教職員は教育理念・目的・目標について認識し、共有している。	1		2		1		
		(5) 教職員は教育理念・目的・目標に向けて努力している。	1		2		1		
	3) 教育理念・目的・目標の点検・見直し	(6) 教育理念・目的・目標は学生に浸透している。	2		1		1		
		(7) 教育理念・目的・目標と教育課程の考えが一貫している。	2		2		2		
	4) 学校の将来構想の明確化	(8) 社会変化、ニーズに対応して見直している。	1		1		1		
		(9) 教育理念・目的・目標は年一回見直している。	2		2		2		
		(10) 学校の将来構想は示されている。	2		1		2		
		(11) 学校の将来構想について組織的に取り組む体制が整えられている。	2		1		2		
2. 学生の受け入れ	1) 学生募集の方法	(12) 学校の教育理念・目的・目標を反映した学生募集方針を定めている。	2	1.63	2	1.81	2	1.81	評価は適正と考える。
		(13) 入学定員を明示している。	2		2		2		
		(14) 推薦・社会人・一般入試制度の有無は明記している。	2		2		2		
		(15) 社会人入学制度を取り入れている。	2		2		2		
		(16) 入学選抜の方法は明示している。	2		2		2		
	2) 入学者選抜方法	(17) 合格基準は明確にしている。	2		2		2		
		(18) 転入学の方法・基準を明文化している。	2		2		2		
		(19) 学生募集要項を作成し、看護の情報を提供している。	2		2		2		
	3) 学生募集の広報	(20) 志願者が関心を持つように工夫されている。	2		2		2		
		(21) 在学生は定員の95%以上を充たしている。	1		1		1		
	4) 学生定員の質・量の充足状況	(22) 入学試験の応募状況は定員の1.5倍以上である。	1		1		1		
		(23) 合格者からの入学率は90%以上である。	1		2		2		
		(24) 推薦入試の在学生は定員の60%以内である。	2		2		2		
		(25) 広報委員会が定期的に開催されている。	1		1		1		
5) 学生募集に関する分析・評価体制	(26) 志願者・合格者・入学者などの推移とその評価がなされている。	1	2	2					
	(27) 多様な選抜方法と学生の状況について検討している。	1	2	2					
	(28) 定期的に健康診断を実施している。	2	2	2					
3. 学生生活への支援	1) 健康管理	(29) 学生が日常生活の健康管理ができるように指導している。	2	1.53	2	1.73	2	1.60	学生同士の関わりを強くすることを検討して欲しい。
		(30) 臨地実習での感染防止の対策をとっている	2		2		2		
		(31) 健康記録は的確に記載し、活用している。	2		2		1		
		(32) 学生相談の窓口を設けていることを学生に周知している。	2		2		2		
	2) 学生相談室、進路相談室の設置と対応	(33) 学生相談の内容によって担当を決めている。	2		2		2		
		(34) プライバシーが保持されるシステムができています。	1		2		2		
		(35) 学生相談の専任のカウンセラーを置いている。	1		2		2		
		(36) ボランティア活動の支援体制ができています。	1		1		1		
	3) ボランティアの支援体制	(37) 学生委員会活動で利用できる室がある。	1		1		2		
		(38) 学生委員会活動が円滑にいくために助言・指導している。	1		1		1		
		(39) 他学年と交流の機会をもっている。	0		1		1		
	4) 学生委員会活動への支援	(40) 奨学金制度について学生に周知している。	2		2		2		
		(41) 学生寄宿舎を有し、管理責任者を置いている。	2		2		0		
		(42) 学生は傷害保険に加入している。	2		2		2		
	4. 教育課程	1) カリキュラムの立案	(43) 教育理念・目標にあった科目設定をしている。		2		1.50		
(44) 教育科目設定には学校の特色を盛り込んでいる。			2	2	2				
(45) 科目設定には学習者・社会のニーズを考慮している。			2	2	2				
(46) 指定規則に合致した科目・単位を設定している。			2	2	2				
2) カリキュラムの効果的編成		(47) 教育理念・目標にあった順序性で配列している。	1	2	1				
		(48) 科目の位置づけと科目間の関連性を明示している。	1	1	1				
		(49) 臨地実習目標は明確で、効果的に計画されている。	1	1	1				
3) カリキュラムの点検・見直し		(50) カリキュラムの見直しは、定期的（年1回）に行っている。	2	2	1				
		(51) 臨地実習の計画・指導は効果的であるかを定期的に見直している。	1	2	2				
	(52) カリキュラムの見直しは学生・講師・教員の意見を定期的に反映している。	1	1	1					

令和5年度自己点検・自己評価および学校関係者評価会議

実施日：令和6年5月28日

学校法人阪和学園 錦秀会看護専門学校

自己点検・自己評価														
大項目	中項目	評価対象項目	令和3年度		令和4年度		令和5年度		学校関係者評価コメント					
			評点	評点平均	評点	評点平均	評点	評点平均						
5. 教育活動・教育指導のあり方	1)学習支援（ガイダンス）	(53) 年度初めにカリキュラムガイダンスを行っている。	2	1.44	2	1.63	2	1.44	外部講師や実習受け入れの調整が度々必要となり高評価に至らなかった可能性はあるが、教育の工夫・研究について改善されていない。 5.教育活動・教育指導のあり方は教職員の資質の根幹となるもので今後の成果を期待したい。					
		(54) 学生便覧は内容・構成が工夫して作成され、学生が活用している。	1		1		1							
		(55) シラバスが作成され活用について学生に説明している。	2		2		2							
	2)授業の計画的遂行・調整	(56) 授業計画に基づいて授業は実施している。	1		1		1							
		(57) 時間割の進度は、授業計画通りに行われている。	1		1		1							
		(58) 科目毎の授業内容を整理し、担当者へ周知している。	1		2		1							
		(59) 必要に応じてオンラインでの授業が行われている	2		2		2							
	3)授業科目の担当および時間	(60) 科目を担当する教員専任・非常勤は専門分野についての専門家が担当している。	2		2		2							
		(61) 教員一人当たりの週授業時間数は時間以内である。	2		2		2							
		(62) 教員の実習担当時間数は時間毎に時間程度の準備時間が見込まれている。	1		1		1							
		(63) 教員間の講義・実習担当時間の配分はほぼ均等である。	0		0		0							
	4)教育の工夫・研究	(64) 授業内容は精選され、学生のレイダネスに沿って構成されている。	1		1		1							
		(65) 学生が自主的に考え、学習することが可能な授業形態が導入されている。	1		2		1							
		(66) 視聴覚教育機器・教材の質と量は十分で、効果的に活用されている。	1		2		1							
		(67) 効果的な教育方法について、検討の場を持っている。	1		2		1							
	5)授業評価	(68) 教育において日常的に教材研究を行っている。	1		2		1							
		(69) 教員は授業終了時に、学生による評価を実施している。	2		2		2							
		(70) 学生による評価は評価表を作成し行っている。	2		2		2							
	6)単位互換	(71) 教員自身による自己評価を実施している。	1		1		1							
		(72) 大学・短大・専修学校への単位互換が可能な科目設定・時間設定である。	2		2		2							
		(73) 大学短大卒の入学生に単位の認定制をとっている。	2		2		2							
	7)成績評価・単位認定	(74) 評価の方法は試験・出席・学習状況・レポートにより行われている。	2		2		2							
		(75) 授業科目毎に評価者と単位認定を明示している。	2		2		2							
		(76) 追試験・再試験・単位未修得者の評価基準を明確にしている。	2		2		2							
		(77) 進級・進度の基準を明示している。	2		2		2							
		(78) 履修認定会議・卒業判定会議は定期的開催している。	2		2		2							
	6. 実習始動体制	1)実習施設の要件	(79) 実習施設は実習場としての施設設備が整っている。カンファレンス、更衣室等		2		1.82			2	1.94	2	1.82	評価は適正と考える。 学校からの付添い教員の方々は、自身の経験ではとても親身にアドバイスしていただいた。実習先の指導者に対して現任教育を計画的に実施しているとあるが、学生に何が問題でどう改善すればいいかを明確に伝えられる指導者が多いとは言えない。多忙であると思うが、体系的に確立された指導を行って欲しい。
			(80) 実習施設は実習に必要な図書が整備されている。		1					2		2		
(81) 実習施設は基本的看護に必要な看護用具が整備されている。			2	2	2									
(82) 実習施設は看護基準、看護手順を作成している。			2	2	2									
(83) 看護単位の実習生受け入れは名以内である。			2	2	2									
2)実習場の開発		(84) 実習科目の目標・内容に見合った実習施設を確保している。	2	2	2									
		(85) 実習施設は実習目的を果たすため適切・妥当であるか定期的に見直している。	2	2	2									
3)実習指導者の能力開発		(86) 実習指導者に対して現任教育を計画的に実施している。	1	1	1									
		(87) 実習指導者は自主的に研究会を実施している。	1	2	1									
		(88) 実習指導者は学生の看護ケアに適切にアドバイスできている。	2	2	2									
		(89) 実習指導者は看護実践の創意工夫に努める姿勢がある。	2	2	2									
4)実習指導体制		(90) 実習要項は各看護学毎に作成している。	2	2	2									
		(91) 実習指導者会議は定期的開催している。	2	2	2									
	(92) 実習指導体制が明確にされ、指導者は1看護単元に2名以上配置されている。	2	2	2										
	(93) 実習指導者は実習要項を元に指導計画を立案・実施・評価している。	2	2	2										
	(94) 実習指導者と教員は、役割分担を明確にして指導している。	2	2	1										
(95) 実習評価は実習指導責任者が作成している。	2	2	2											
7. 研究・研修活動	1)教員の研究活動	(96) 教員は専門領域の研究活動に取り組んでいる。	1	1.38	1	1.38	1	1.38	5.教育活動・教育指導教と同様に、職員の資質の根幹となるものである。今後の成果に期待したい。					
		(97) 教員は研究活動の校外研修日を月1回以上、確保している。	2		2		2							
		(98) 教員は臨床ナースと連携や交流を図り臨床看護研究に取り組んでいる。	0		1		1							
	2)研究成果の発表	(99) 教員は研究成果を過去2年以内に公表している。	0		0		0							
		3)研修活動への積極的参加と教員の活動	(100) 教員は年回以上、自主的に研修に参加している。		2		2			2				
			(101) 教員は、専門領域の臨地実習、研修を担当している。		2		2			2				
(102) 教員が研修に参加できるようにシステム作りをしている。	2		2	2										
(103) 教員は対外的に講師としての役割を果たし、活動している。	2	1	1											
8. 組織管理・運営	1)学校の組織と関連組織の整備	(104) 教員組織、事務組織は専任者が配置され、運営しやすい組織図ができています。	2	1.89	2	1.86	2	1.86	評価は適正と考える。 講師会議の定期的な開催によって、授業の質が向上されることを期待したい。					
		(105) 教員組織と事務組織は適正に連携している。	2		2		2							
		(106) 教員組織は運営に必要な人数と職種が配置されている。	2		1		1							
		(107) 事務組織は運営に必要な人数が配置されている。	2		1		1							
		(108) 各職員が命令系統に沿ってその役割を果たしている。	1		1		1							
		(109) 教員の人事について副学校長・学科長は意見を具申している。	2		2		2							
		(110) 教員の将来方針を把握し、助言している。	2		2		2							
		2)教師・実習指導者の要件	(111) 講師の資格要件を明示している。		2		2			2				
			(112) 非常勤講師は資格要件をもとに選考している。		2		2			2				
			(113) 実習指導者の資格要件は明示している。		2		2			2				
		3)教員人事の適正配置	(114) 教員は看護学の専門領域毎に配置されている。		2		2			2				
	(115) 副学校長は専任で配置されている。		2		2		2							
	(116) 学科長は専任で配置されている。		2		2		2							
	(117) 実習調整者は専任で配置されている。		2		2		2							
	4)職員の職務分掌		(118) 職務分掌は作成している。		2		2			2				
		(119) 学校長は職務分掌に沿ってその役割を果たしている。	2		2		2							
		(120) 副学校長は職務分掌に沿ってその役割を果たしている。	2		2		2							
		(121) 事務長は職務分掌に沿ってその役割を果たしている。	2		2		2							
		(122) 学科長・実習調整者は職務分掌に沿ってその役割を果たしている。	2		2		2							
		(123) 教員は職務分掌に沿ってその役割を果たしている。	2		2		2							
		(124) 事務員は職務分掌に沿ってその役割を果たしている。	2		2		2							
		5)会議への参加運営	(125) 副学校長は運営会議に出席し、必要時意見を述べている。		2		2			2				
	(126) 副学校長は学校運営会議に出席し、必要時意見を述べている。		2		2		2							
	(127) 学校運営会議は定期的開催している。		2		2		2							
(128) 教員・カリキュラム会議は月回以上開催している。	2		2	2										
(129) 講師会議は定期的開催している。	0		1	1										
6)学籍の管理	(130) 学籍簿は学籍の記録、履修状況が正確に記載され、証明機能を備えている。	2	2	2										
	(131) 学籍簿は保管が適切になされ、秘密が守られている。	2	2	2										

令和5年度自己点検・自己評価および学校関係者評価会議

実施日：令和6年5月28日

学校法人阪和学園 錦秀会看護専門学校

自己点検・自己評価									
大項目	中項目	評価対象項目	令和3年度		令和4年度		令和5年度		学校関係者評価コメント
			評点	評点平均	評点	評点平均	評点	評点平均	
9. 施設整備	1)校舎の整備と管理	(132) クラス数に見合った普通教室を持っている。	2	1.90	2	1.90	2	1.97	3年間通じて大変良いと思う。学生獲得につなげて欲しい。 学生生活アンケートの入学の動機(問2)でも「設備が充実している。」が高く整合性があるように思われる。
		(133) 看護学別に演習できるような実習室の配置物品等がされている。	2		2		2		
		(134) グループ討議等ができるゼミ室を有している。	2		2		2		
		(135) 視聴覚室を有している。	2		2		2		
		(136) コンピューター室を有している。	2		2		2		
		(137) 専用の図書室を有している。	2		2		2		
		(138) 体育館または講堂を有している。	2		2		2		
		(139) 校内施設利用規程は作成している。	2		2		2		
	2)学生支援施設の整備と管理	(141) 専用の保健室がある。	2		2		2		
		(142) 学生相談室が設置されている。	1		1		1		
		(143) 自習室の整備ができています。	1		2		2		
		(144) 学生用トイレ、更衣室がある。	2		2		2		
		(145) 学生ホールは交流の場として活用している。	2		1		2		
		(146) 学生ホールは整備され、憩いの場作りができています。	2		2		2		
	3)図書室の整備と管理	(147) 図書室および資料は分野毎、領域毎に分類され整理されている。	2		2		2		
		(148) 蔵書数は学生数に見合った十分な冊数である。	2		2		2		
		(149) 専門分野は専門領域毎に計画的に増補している。	2		2		2		
		(150) 学術雑誌は指定基準以上の種類を有している。	2		2		2		
		(151) 視聴覚機器が整備されている。	2		2		2		
		(152) 図書と学術雑誌およびビデオ・DVD等の整備点検はできています。	1		1		2		
(153) 司書を配置している。		2	2	2					
(154) 学生が利用しやすい時間帯に開室している。		2	2	2					
(155) 新刊図書の紹介をしている。		2	2	2					
(156) 必要な図書増備の予算計画ができています。		2	2	2					
4)教材の整備と管理	(158) 教材教具は定期的に点検を行っている。	2	2	2					
	(159) 専門領域毎に教育内容に合った教材を増備している。	2	2	2					
	(160) 機械・器具、標本、模型は学生数に見合った十分な数を整備している。	2	2	2					
	(161) ビデオ・DVD等、視聴覚教材は自己学習に使用できる。	2	2	2					
	(162) 教材購入の経費は年次毎に計画し増備している。	2	2	2					
	10. 社会への貢献	1)地域社会との連携と社会への啓蒙	(163) 看護教育および看護の情報を公開し、広報活動を行っている。	2	1.00	2	1.00	2	1.17
(164) 学校行事は地域社会性を考慮して教育計画に位置づけている。			1	1		1			
(165) 地域への働きかけは社会のニーズに応じた内容である。			1	1		1			
2)近隣関連施設との連携		(166) 近隣施設へのボランティア活動に積極的に参加している。	0	0		1			
		(167) 社会人および近隣施設の生涯教育の場として学校を開放している。	1	1		1			
		(168) 近隣関連施設との情報交換および連携システムができています。	1	1		1			
11. 予算	1)事業計画	(169) 学校の事業計画を立てている。	2	1.29	2	1.43	2	1.43	職員の意識を高めることは容易ではないが、今以上職員が収支状況を把握するよう努めて欲しい。
		(170) 事業計画は学園の全体計画の中に適切に位置づけられている。	2		2		2		
		(171) 中・長期目標の執行計画が立てられている。	1		1		1		
	2)予算の執行	(172) 年間の予算計画・執行状況を把握し、必要時修正している。	1		2		2		
		(173) 職員は収支の状況を把握している。	1		1		1		
		3)経営意識	(174) 職員全員が経営意識を持っている。		1		1		
(175) 職員は歳出削減に向けて努力している。	1		1	1					
12. 学校評価	1)自己点検・自己評価	(176) 学校自己点検・評価のシステムが作られている。	2	1.80	2	1.80	2	1.80	正しく評価がなされている。PDCAサイクル化し次年度に活用して欲しい。
		(177) 自己点検・評価に必要な基礎データ等の整備がなされている。	2		2		2		
		(178) 自己点検・評価を定期的実施している。	2		2		2		
		(179) 自己点検・評価の結果を公表している。	2		2		2		
		(180) 評価を次年度に活かしている。	1		1		1		